

NEW

福岡歯科学園広報誌

ニュー ソフィア

SOPHIA

MAY.2007

Vol.15 No.2
(第54号)

FUKUOKA SHIKAGAKUEN

CONTENTS

平成19年度入学式 ——— 2

COLLEGE NEWS

大学基準協会・日本高等教育評価機構の— 3
認証評価結果

教育用医療情報の
デジタル化を開始 ——— 4

上海交通大学口腔医学院と
相互交流 ——— 5

FROM PARENTS

保護者からのメッセージ ——— 6

FROM THE ALUMNI ASSOCIATION

同窓会だより ——— 7

HI FROM CLINICS

クリニックからこんにちは ——— 8

平成18年度卒業式・謝恩会 ——— 9

平成19年度
新入生研修会 ——— 10・11

平成20年度入試日程
オープンキャンパス ——— 12



アカデミア賞授賞式後の記念撮影、左から2人目が田中理事長（2月9日新都ホテルで）

『ニュー ソフィア』は福岡歯科学園
ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.fdcnet.ac.jp>

福岡歯科学園

平成19年度入学式



福岡歯科大学入学式

ようこそ福岡歯科大学へ

福岡歯科大学歯学部・大学院の平成19年度入学式は春爛漫の4月2日、来賓並びに父兄の列席のもと福岡歯科大学本館講堂で挙行されました。

緊張の面持ちの96人の新入生に本田武司学長は、「今までのように歯を中心とした歯科医療ではなく、身体の中の口腔という臓器を扱う専門の歯科医師として、人のからだを十分理解できる歯科医学・医療の知識・技術や、医療人としての良識や品格も身につけてもらいたい」と期待を述べました。

11人の大学院生に対しては、「4年間という限られた期間であるが、指導教授の下、研究に没頭し、感動的な発見を求め日々研鑽するように」とアドバイスを贈りました。

ようこそ福岡医療短大へ

福岡医療短期大学の平成19年度入学式は桜満開の4月5日、本館講堂で挙行されました。式辞の中で栢豪洋学長は「歯科衛生士の業務は、口の中だけでなく口や顔全体の機能に広がっている。また、お年寄りの命の質を高めるには、介護福祉士の温かい心の注射が必要である」と述べ、希望に胸をふくらませた121人の新入生にエールを贈りました。



福岡医療短期大学入学式

第100回 歯科医師国家試験

3月28日、厚生労働省から第100回歯科医師国家試験の結果が発表されました。全国の受験者3,200人中、合格者は2,375人、合格率は74.2%。福岡歯科大学からは今春卒業した110人および既卒者30人、計140人が受験し、99人が合格しました。合格率は70.7%でした。在学生の奮起を期待します。

第100回 歯科医師国家試験結果

大学名	総数		
	受験者数	合格者数	合格率
福岡歯科大学	140	99	70.7%
北海道医療大学歯学部	119	86	72.3%
岩手医科大学歯学部	108	58	53.7%
奥羽大学歯学部	151	88	58.3%
明海大学歯学部	144	119	82.6%
日本大学松戸歯学部	149	108	72.5%
東京歯科大学	133	120	90.2%
日本歯科大学	151	118	78.1%
日本大学歯学部	150	131	87.3%
昭和大学歯学部	114	100	87.7%
神奈川歯科大学	146	104	71.2%
鶴見大学歯学部	131	80	61.1%
日本歯科大学新潟生命歯学部	131	75	57.3%
松本歯科大学	168	70	41.7%
朝日大学歯学部	137	78	56.9%
愛知学院大学歯学部	147	130	88.4%
大阪歯科大学	164	100	61.0%
私立歯科大学 計	2,383	1,664	69.8%
国公立大学歯学部 計	811	710	87.5%
認定及び予備試験	6	1	16.7%
合計	3,200	2,375	74.2%

第16回歯科衛生士試験

3月26日、厚生労働省から第16回歯科衛生士試験の結果が発表されました。福岡医療短期大学・歯科衛生学科からは卒業生ら110人が受験し、106人が合格しました。全国の合格率は93.8%でした。

田中理事長がアカデミア賞受賞

田中健藏理事長は、(社)全国日本学士会から「多年、わが国の学術、教育、文化および地域の振興に寄与するとともに、広く国際交流に尽くした功績」により「平成18年度アカデミア賞(文化・国際部門)」を授与されました。

授賞式は、平成19年2月9日、京都府の新都ホテルで行われました。また、九州大学の梶山千里総長らが発起人となりアカデミア賞受賞を祝う祝賀会が3月10日、ホテルニューオータニ博多で開催され、教

育関係者ら350人が集まり、アカデミア賞受賞を祝しました。田中理事長は「アカデミアの精神を体して命ある限り、学問のため、社会のため微力を尽くしたい」と謝辞を述べました。

「アカデミア賞」は、わが国及び世界の文化・社会・国際の各部門において、その功績顕著な人に対する最高の栄誉と賞賛を伝えるために制定されたもので、これまでに横山大観、明石康、日野原重明の各氏らが受賞されています。



田中理事長へ花束贈呈



謝辞を述べる田中理事長

大学基準協会および日本高等教育評価機構から 大学基準適合認定の評価結果

学校教育法第69条の3に基づき、すべての大学、短大等は教育研究水準の向上に向け、7年以内ごとに文部科学大臣が認証した評価機関による評価（認証評価）を受けることが義務付けられました。

これを受け福岡歯科大学は、平成18年度、大学基準協会と日本高等教育評価機構の二つの認証評価機関による認証評価を受け、その結果がこのほど公表されました。いずれ

の評価機関からも、歯学のフロントランナーとしての高い評価を得ました。

なお、評価結果とともに申請時に基準協会に提出した「自己点検・評価報告書」、「大学基礎データ集」、日本高等教育評価機構に提出した「自己評価報告書」「同・資料編」は、広く社会に公開するため、本学ホームページに掲載しています。

病院長に石川教授、新役職教員決まる

1月16日に開催された第388回理事会において、大学運営の中核となる福岡歯科大学医科歯科総合病院長および各部門長が次のとおり決定しました。任期は平成19年4月1日から2年間です。

病院長	石川 博之 (矯正歯科学分野教授)
口腔・歯学部部門長	坂上 竜資 (歯周病学分野教授)
全身管理・ 医歯学部部門長	湯浅 賢治 (画像診断学分野教授)
社会医歯学部部門長	埴岡 隆 (口腔健康科学分野教授)
基礎医歯学部部門長	谷口 邦久 (病態構造学分野教授)

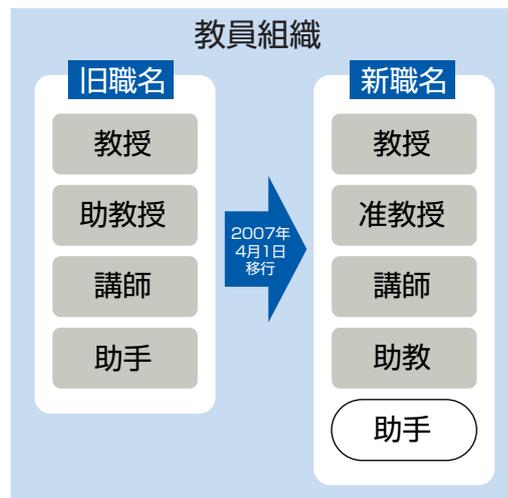


前列左から、坂上、石川、埴岡教授
後列左から、谷口、湯浅教授

大学・短大の 教員組織（職名）を変更

福岡歯科大学および福岡医療短期大学では、学校教育法の改正に対応するため、教員の職名の変更を行い、平成19年4月から新しい職名を適用しています。これまで教員の職名は「教授」、「助教授」、「講師」、「助手」に区分されていましたが、4月からは「教授」、「准教授」、「講師」、「助教」に区分されることとなりました。

なお、大講座制と教育・研究・診療組織は現行のとおりとすることになりました。



新任教授・准教授紹介

はらだ ひろふみ
原田 博文 教授



総合医学講座
耳鼻咽喉科学分野

略歴

防衛医科大学校医学部卒。自衛隊福岡病院医官、福岡大学医学部助手、同講師、助教授を経て、平成19年4月福岡歯科大学教授に就任。博士（医学）。山口県出身。

抱負

耳鼻咽喉科は、聴覚・嗅覚などの感覚器、口腔・咽頭などの消化器、鼻・喉頭・気管などの呼吸器、顎・顔面などの美容外科と広範囲にわたり、人とのコミュニケーションにも重要な診療科です。歯科とも密接な関係があります。いっしょに勉強していきましょう。

いずみ としお
泉 利雄 准教授



口腔治療学講座
歯科保存学分野

略歴

九州大学歯学部卒。同大学院歯学研究科博士課程単位取得の上退学。福岡歯科大学助手、講師を経て、平成19年3月同大学助教授（現准教授）。博士（歯学）。福岡県出身。

抱負

本校の学生が苦手とする保存修復学と歯内治療学の講義・実習の改善と充実に努め国家試験の合格率向上に僅かでも寄与すること、および大学院生の指導に力を注ぐことが当面の目標です。

わたなべ あきひろ
渡邊 昭博 准教授



総合医学講座
外科学分野

略歴

九州大学医学部卒。大分県立病院がんセンター外科部長、福岡歯科大学助手、講師を経て、平成19年3月同大学助教授（現准教授）に就任。博士（医学）。福岡県出身。

抱負

歯科医に必要な医学的知識や最先端の話題を分かりやすく、また興味をもって習得できるよう指導します。また診療面では患者さまに感動していただける医療をめざし、患者増に貢献したいと思っています。

つるが えいち
敦賀 英知 准教授



生体構造学講座
機能構造学分野

略歴

北海道大学歯学部卒。同大学大学院歯学研究科修了。北海道医療大学歯学部助手を経て、平成19年4月福岡歯科大学准教授に就任。博士（歯学）。北海道出身。

抱負

学生皆さんへ
せっかく勉強するなら楽しみましょう。基礎系の科目は、将来、臨床の場で、論理的に物事を考えていくトレーニングにもなります。わからないことがあったら気軽に相談に来て下さい。

まつお ただゆき
松尾 忠行 准教授



福岡医療短期大学
歯科衛生学科

略歴

福岡歯科大学歯学部卒。同大学助手、福岡医療短期大学講師を経て、平成19年4月同短大・歯科衛生学科准教授に就任。博士（歯学）。長崎県出身。

抱負

短大におけるこれまでの教育経験を生かし、歯科衛生学科の教育目標である、地域歯科保健のリーダーかつ「口腔介護」を実践できる歯科衛生士の養成のために、より一層力を注いでいく所存です。

どうのう けいこ
東納 恵子 准教授



福岡医療短期大学
歯科衛生学科

略歴

鳥栖歯科衛生士学院、産能短期大学能率科卒。福岡医療短期大学講師を経て、平成19年4月同短大・歯科衛生学科准教授に就任。佐賀県出身。

抱負

歯科衛生学の確立と全人的・包括的なケア能力を有する歯科衛生士の養成、さらに専門職として社会的評価の向上を目標に微力ながら貢献したいと思っています。これまでご指導を賜った皆様に感謝し、今後も日々研鑽に努めます。

ほりべ はるみ
堀部 晴美 准教授



福岡医療短期大学
歯科衛生学科

略歴

日本大学歯科衛生士学校、西日本短期大学法科卒。福岡医療短期大学講師を経て、平成19年4月同短大・歯科衛生学科准教授に就任。東京都出身。

抱負

歯科衛生士の業務は、う蝕や歯周疾患の予防・管理に加え、口腔機能の管理にもかわることが必須となってきています。短大の特色である「口腔介護教育」に対し、他の教員と連携を図りながら学生教育に還元したいと考えています。

教育用医療情報のデジタル化を開始

高度情報通信ネットワーク社会の推進の波は歯科医療においても例外ではなく、歯科医療情報のデジタル化、高速ネットワーク化が急速に進んでいます。このような時代の要請を考えれば、歯科教育の中においてもデジタル化された医療情報の有効な使用法およびデジタル化に潜む数々の危険性に対応できる歯科医師の養成が必要と思われれます。

そのためには、臨床実習の中でデジタル化された歯科医療情報の教育を行うことが重要かつ最も教育効果をもたらすと考え、福岡歯科大学の医療情報の大部分をデジタル化しネットワークで結ぶ本事業を平成19年7月から本格的に開始することになりました。

学内LAN情報処理関係設備を更新・整備

「動画配信を主としたe-learningシステム構築のための情報処理整備事業」は、ネットワークのスピードの要となるコアスイッチおよび各エッジスイッチを現在の100BaseTXから1GB対応とするとともに、サーバ類を更新することで動画配信をスムーズに行うことができるネットワーク環境を構築することを目的として開始されます。これにより、オン・デマンドで動画を主とした学習素材を配信するe-learningシステムを構築することができるようになり、学生が自ら学習する際に学内であれば時間や場所を問わずにオ

ン・デマンドでテキスト、静止画像、動画などの学習素材を繰り返し見たり、解説を聞いたりすることができるようになります。講義においても教科書やノートによる学習という従来の講義形式ではなく、多くの症例のスライドやビデオを用いたケーススタディを行うことにより、診療参加型実習を初めとする臨床実習、あるいは基礎実習につながる講義への理解が深まるとともに問題解決能力の向上が期待できます。

教育のための新型CT装置および 歯科用CT装置を導入

口腔外科領域の疾患のみならず、口腔インプラント治療のための検査としてもCT検査は不可欠の検査となっています。さらに、歯・歯周組織の疾患を念頭にいた歯科用CTが開発され、一般歯科医院へも導入されています。この状況を考えると、最先端の歯科医療を行う上でCTに関する豊富な知識を持ち、実習を経験した歯科医師の養成が必要であることから、本年3月、最新鋭のCT(写真)および歯科用CTの導入が行われ、医科歯科総合病院放射線科に設置されました。



最新型透過電子顕微鏡を設置

3月末、医科歯科総合病院4階の生体構造学講座電子顕微鏡室にトモグラフィ対応の最新型透過電子顕微鏡(写真)が設置されました。本装置の導入により切片内の構造物を立体的に観察することが可能となり、細胞や細胞内小器官、組織構成成分などの微細構造を三次元レベルで解析できます。口腔医学の進展のため、活発な利用が期待されます。



歯科医師臨床研修スタート

4月2日、平成19年度歯科医師臨床研修開始式が601教室で執り行われ、71人が臨床研修歯科医として研修をスタートしました。研修は福岡歯科大学医科歯科総合病院の他、協力型臨床研修施設において来年3月末まで行われます。



辞令を受ける臨床研修歯科医

福岡医療短期大学公開講座

3月11日、福岡医療短期大学で公開講座『笑う介護士の極意～コミュニケーションの達人に学ぶ～』(講師 袖山卓也氏)が開催されました。当日は本学の学生や福祉現場の介護福祉士、看護師、介護に関心のある一般の方や学生など166人が参加し、日常生活の中から見いだされた介護のヒントを交えた講演が和やかな雰囲気の下で行われました。



ジェスチャーたっぷりに講演する袖山卓也氏

3月18日、福岡医療短期大学で「「口腔ケア」から始める介護予防」と題した公開講座「口腔ケア実践教室」が開催されました。これは文部科学省の平成18年度「特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)」に選定された取組の一つで、口腔ケアの実際を広く地域に情報提供する試みで、今後も開催される予定です。



口腔ケアの実技講習

上海交通大学口腔医学院と相互交流

平成19年3月18日から25日の8日間、歯周病学分野・坂上竜資教授および細胞生理学分野・岡部幸司教授ならびに5年生8人が、姉妹校である上海交通大学を訪問し、視察、



記念品(有田焼絵皿)を手渡す坂上教授
(上海交通大学口腔医学院)

交流および教育・臨床・研修における共同事業の計画等について協議、親睦を図りました。

また、4月8日から15日の8日間、上海交通大学口腔医学院顎顔面インプラント科主任・張志勇教授、同院総合歯科主任・徐曉教授、同院事務室副主任・曹霞講師ならびに学生4名が福岡歯科大学を訪れました。訪問中、張教授と徐教授は、講演を行うとともに、今後の両校の交流のあり方について本田武司学長らと協議を行いました。一方、学生は医科歯科総合病院の各診療科で最新の歯科診療に関する研修を受け、帰国前日には、訪問

団一行は阿蘇を訪れ観光を楽しみました。今回で2回目となる相互交流により両校の絆は益々深まっているように思われます。



本学役員らと一緒に写真に納まる訪問団のメンバー
(福岡歯科大学)

平成18年度福岡歯科大学臨床研修歯科医海外研修報告

久永 豊(矯正歯科学分野・講師)

平成19年3月3日から11日まで、9日間の日程で、アメリカ歯科医療事情・医療施設視察を目的にカリフォルニア州ロサンゼルスで臨床研修歯科医海外研修が行われ、13名の臨床研修歯科医が参加しました(引率は宇治寿隆、口腔外科学分野・講師と筆者)。主な研修先は地元開業歯科医院、技工所とロマリダ大学歯学部(LLU)、カリフォルニア大学



Rotstein歯学部部長の講義：USCにて

ロサンゼルス校(UCLA)、南カリフォルニア大学(USC)の3大学で、中でもUSCでは身に余る歓迎を受けました。臨床関係では日本と違う歯科保険制度や各科専門分野がはっきりと区別された歯科医療システムに、また教育関係では大学での卒前・卒後臨床研修の違いに驚かされるが多かった反面、日本の歯科医療制度や歯科教育プログラムの充実さを再認識いたしました。

また、研修医達はホームステイを体験し、アメリカの文化を学ぶとともに、ホストファミリーの温かさにふれ、皆感謝の気持ちでいっぱいになりました。

この研修を通じて、生涯研修である歯学道に海外留学・海外研修というひとつの選択肢が増えたのは私だけではないように思えます。

日本を離れアメリカという自由で壮大な土地で、他国の歯科医療・歯科教育視察でそれぞれが感じたこと、ホームステイで味わった他人への思いやりと感謝の心が、研修医達の将来を明るく照らす光となれば幸いです。最後に、今後本研修がさらに発展することを切望するとともに、ご指導、ご配慮いただきました関係者各位に深く感謝いたします。



海外研修に参加したメンバー：バームスプリングにて

海外研修派遣

【福岡歯科大学】平成18年度

所属分野	職名	氏名	用務	派遣先	派遣期間
口腔インプラント学	助教 助 手	城 戸 寛 史 長 島 義 之	1.the Academy of Osseointegration 22nd Annual Meetingにて発表のため 2.ニューヨーク大学インプラント科にて研修コース受講のため	サンアントニオ ニューヨーク (アメリカ)	自:H19.3. 7 至:H19.3.15
冠 橋 義 歯 学	講 師	松 永 興 昌			
口腔インプラント学	講 師	山 崎 裕	32nd Australian Dental Congress にてポスター発表のため	シドニー (オーストラリア)	自:H19. 3.15 至:H19. 3.22
画 像 診 断 学	助 手 大 学 院	香 川 豊 宏 福 成 史 子	39th General Assembly and Scientific Meeting, Korean Academy of Oral and Maxillofacial Radiologyにて発表及びソウル大学歯科放射線科見学のため	ソウル (韓国)	自:H19. 3.16 至:H19. 3.19
口 腔 腫 瘍 学	教 助 授 手	大 関 悟 橋 本 憲 一 郎	ミャンマーにおける医療援助活動・技術指導ならびに大学間姉妹提携の打合せのため	ヤンゴン (ミャンマー)	自:H19.3.18 至:H19.3.25
歯 周 病 学 細 胞 生 理 学	教 授	坂 上 竜 資 岡 部 幸 司	上海交通大学への派遣学生(8名)の引率及び今後の両校の学術交流の協議等のため	上海 (中国)	自:H19. 3.18 至:H19. 3.25
総 合 歯 科 学	講 師	内 藤 徹	1.第85回International Academy for Dental Research 出席のため 2.Evidence Based Dentistry 誌編集会議のため 3.New Mexico Health Science Center での講義のため	ニューオリンズ アルバカーキ (アメリカ)	自:H19.3.20 至:H19.3.30

【福岡歯科大学】平成19年度

所属分野	職名	氏名	用務	派遣先	派遣期間
矯 正 歯 科 学	助 教 大 学 院	川 鍋 仁 大 柳 幸 大 崔 旭 鎮	第107回米国矯正歯科学会にて発表のため	シアトル (アメリカ)	自:H19. 5.18 至:H19. 5.23
冠 橋 義 歯 学	教 授	佐 藤 博 信	1.第25回国際口腔機能学会(25th Society of Oral Physiology)での発表のため 2.スウェーデンイェテボリ大学での研究打ち合わせ並びに講演のため	ツルク(フィンランド) イェテボリ(スウェーデン)	自:H19. 5.21 至:H19. 5.27
学 術 フ ロ ン テ ィ ア 研 究 セ ン タ ー	教 授	関 口 睦 夫	1.第2回MGMTとアルキル化薬剤抵抗性に関する国際会議に出席、講演のため 2.フランスナント大学フランス国立科学研究機構での発がん抑制の分子機構に関する共同研究についてTakahashi教授と研究連絡を行い討議するため	マインツ(ドイツ) ナント(フランス)	自:H19. 6.11 至:H19. 6.21

保護者からのメッセージ FROM PARENTS



三宅 正輝 = 文

「良かったこと、あれこれ」

1. 子供を「外」に出して良かった

入学して暫くした頃、帰省した息子にビールを注いでやると、その時なんと彼は、右手をグラスの脇に、左手をグラスの下に添えてビールをもらっているではありませんか!!家に居た時は、親に時々反抗していた彼が…。クラブの先輩に社会人としての礼儀を、教えてもらったのでしょう。その時です。「可愛い子には旅をさせよ。」息子を「外」に出して良かったなと思ったのは。

2. 子供が運動をして良かった

小学校のときからサッカーを続け、入学式の日に即、入部したと聞いています。勉強と両立できるかと、親としては心配したものです。今は5年生になりキャプテンとして頑張ったようです。皆をまとめる苦勞、目標に向かって努力することを学んだと思います。この経験は、これからの人生で大きな経験、糧になってくれると思います。

一昨年の地元北九州の歯学体では、ささやか

ですが、宿舍まで差し入れをしました。

3. 父兄後援会のお世話をして良かった

毎年、大学側の説明を伺って、教育・研究に対する大学の意気込み、熱意をひしひしと感じています。子供達をいい意味で「かまって」下さることに頭が下がり、感謝の気持ちで一杯です。今期から北九州支部長の大役を仰せつかります。

4. 学生で良かった(子供達に)

大学とは、「人から教えてもらう所ではなく、本来自分で勉強する所」と私は、思っています。学生諸君は、そのための時間を与えられています。貴重な青春の日々を、有意義に過ごして下さい。

5. 子供が帰って良かった(将来の夢)

いつか一人前になって、自院に帰ってくれることでしょ。その時に、親子で「歯科のロマン」を語り合いたいものです。

そう、あの時のようにビールを注ぎながら……。



有田 信一 = 文

「歯科医療の喜びと課題」

私の息子も福岡歯科大学の4年生として、勉強に部活に生き生きと学生生活を楽しんでいる姿を見るにつけ、感慨深いものがあります。

実は、私も昭和52年に九州歯科大学を卒業直後に福岡歯科大学歯科矯正学教室に入局し、福岡歯科大学にお世話になりました。その当時は1回生がまだ4年生の時期で、矯正学教室として、初めての矯正実習を控え、舌側弧線装置などの実習サンプルの製作などに忙しかったこと、日本に導入された直後のバイオプログレッシブ法のワイヤーベンディングで苦労したことなど多くの思い出があります。私は現在、長崎で小児・矯正歯科医院を開業していますが、今でも福岡歯科大学での経験が非常に役に立っています。

小児歯科医療はこの25年間で大きく変わってき

ました。乳歯ウ蝕の治療が主体だった小児歯科医療はウ蝕予防を含めた咬合育成が主体となっています。そのため、授乳や離乳食などの育児に関するアドバイスの割合が多くなりました。

泣いていた子どもが泣かなくなり、大学生になり、結婚し親になり、子どもを生む。その子どもの成長をかつて子どもだった親と共に喜ぶ幸せが小児歯科医療にはあります。

一方、重症度ウ蝕の治療目的で来院する子どももいます。家庭による歯科の健康格差が拡大しています。このように今の小児歯科医療には、大きな喜びといくつかの課題があります。

歯科医療の喜びと課題について、息子と、いや福岡歯科大学の皆さんと語り合う事ができる日を楽しみにしています。

福岡歯科大学父兄後援会会長に勝俣辰也氏が就任

2月24日に開催された福岡歯科大学父兄後援会理事会・評議員会合同会議において、同会長の改選が行われ、第15代会長として勝俣辰也氏が選任されました。



<略歴>昭和54年福岡歯科大学卒業(第1期)

<役職>福岡歯科大学同窓会 副会長

<抱負>大学と父兄後援会との連携を密にし、大学の教育運営に協力し、皆様の御子弟が有意義な学生生活を過ごし、優秀な歯科医師となられるよう努力いたしますので、皆様のご理解とご協力の程、宜しくお願いたします。

福岡医療短期大学父兄後援会長改選

4月5日福岡医療短期大学入学式に続いて開催された歯科衛生学科父兄後援会総会において大石昌弘氏が、父兄後援会会長に選任されました。また、同日開催された保健福祉学科父兄後援会総会において、小田順子氏が父兄後援会会長に選任されました。

短大で地域老人会と料理教室

3月1日、福岡医療短期大学で田新町老人会「おしゃべりっく会」の皆さんを招いて、「ひな祭り 食育・料理教室」が開催されました。この教室は、地域への貢献の一つとして、食文化を大切に高齢者の食をサポートしようという目的で実施されました。参加者は短大学生と一緒にグループに分かれて、ひな祭りの献立(桜ひなすし、ハマグリのお吸い物、桜白玉)の調理実習を行い、お雛飾りを鑑賞しながら会食し、楽しいひと時を過ごしました。



調理を行うおしゃべりっく会の皆さん



大石昌弘氏



小田順子氏

From The Alumni Association

同窓会だより

福岡歯科大学同窓会主催 第28回臨床セミナー報告



千葉先生(右)と江崎先生(左)の両講師

去る平成19年1月28日(日)、東京歯科産業九州支店ショールームセミナー室において第28回臨床セミナーを開催いたしました。2回シリーズの2回目は、睡眠時無呼吸症候群(Sleep apnea syndrome : SAS)の診断と治療(効果的な口腔内装置作製法)について、太田総合病院付属睡眠科学センター耳鼻咽喉科部長の千葉伸太郎先生(日本睡眠学会認定医・東京慈恵会医科大学卒)と睡眠科学研究所江崎歯科内科医院を開設の江崎和久先生(日本睡眠学会認定歯科医師・福岡歯科大学卒)

にご講演と実習のご指導をいただきました。

「人生の30パーセント以上を占める睡眠の意義から診断と治療について」(講師:千葉伸太郎)

人は基本的に鼻呼吸であり、アメリカでは鼻呼吸の推奨として乳児期からのおしゃぶりが良いとされおり、睡眠時無呼吸症候群(SAS: Sleep apnea syndrome、定義:無呼吸(低呼吸)は1時間あたり10秒以上が5回以上停止)の患者は、肥満と軟口蓋過長ならびに小顎症患者に多く、高血圧症の合併と多血症に伴う脳血管障害の発生率が高く、心臓病では健常者に比べ3倍以上の高い罹患率であると報告されており、本邦での患者は約200~400万人と推定されています。

精神科、脳神経外科、循環器内科、内分泌内科、小児科、呼吸器内科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科ならびに栄養指導などの多数の各専

門科が関わる学際的な疾患であり、連携医療による総合診断と治療法が必要と示唆されました。そして、1986年より下顎前方固定法(PMA)が開始され、マウスピースによる下顎骨前方位、顎切による前方移動術、耳鼻科における上気道の高周波治療、肥満の解消(栄養指導・運動によるダイエットプログラム・補助食品)・減量などの治療法をご紹介いただきました。

また、今回江崎和久先生には口腔内装置療法におけるジョージゲージを用いての下顎前方移動量計測および咬合採得装置の紹介を含め、口腔内装置の作製について実習のご指導をいただきました。

末筆ではありますが、充実した内容の臨床セミナーを開催することができましたこと、両講師の先生ならびに関係者各位には心より御礼申し上げます。

学術常務理事 岩本 憲明(2期)

歯科医師臨床研修修了記念祝賀会



祝辞を述べる田中理事長

昨年度より本格実施された歯科医師臨床研修制度第1期生の研修修了を記念し、同窓会本部ならびに同窓会学内支部が主催して、平成19年3月30日に歯科医師臨床研修

修了記念祝賀会が福岡市中央区大名のバサンで行われました。法人からは、理事長の田中健藏先生をはじめ青野一哉常務理事、本田武司大学長、本川渉病院長が、また、同窓会からは宮口巖同窓会会長や同窓会幹部および学内で直接指導にあたった学内支部の先生方が多数参加し、総勢82人の盛大な祝賀会となりました。

まず、宮口会長から開会の辞で、「ぜひ同窓会に参加し大学や後輩たちを支援しよう」と力強いメッセージが述べられ、田中理事長からも同窓会の大切さなどの温かいお言葉

を頂きました。最後に研修医より福岡歯科大学と同窓会に対して謝辞が述べられ閉会しました。

沈滞ムードの歯科医学界ではありますが、同窓会と法人とが一体となり、若い歯科医師たちにエールを送る良い機会となりました。



“頑張っていこう!”

尾崎 正雄(3期)

卒業生トーク

「レンズに魅せられて」

長谷川 洋輔(24期)



平成14年に卒業し、現在は本学の成長発達歯学講座矯正歯科学分野に在籍しております。

入局後は、専門知識の習得のため、何にしても一から覚えることが多く、また臨床、研究、学生の教育と悪戦苦闘の毎日ですが、日々が充実しています。

そんな中、趣味といえば専ら写真です。診療でも口腔内カメラはよく使いますが…。以前から関心はありましたが、「撮影」となると堅く、専門的なイメージがありました。そんな時、写真展へ出してみないか、という誘いを受け、出展したのを機に本格的に始めました。最初は、どの写真も納得いかないものばかりで、面白みを追及出来ず、なげいていた時期もありました。しかし、試行錯誤を繰り返していくうち、徐々にコツが分かってきました。光の加減、色の出方、遠近感、フレーミングの決定…と奥が深く、カメラは撮り方によってその素材を10にも100にも生かす力を秘めていると思いました。一枚の写真から、単なる報道的な内容に留まらず、一瞬の力強さ、訴えが感じられました。

撮影の楽しみを覚えた今では、休みの日は遠くへ足を運ぶこともあります。無機質な田園の景観もファインダーを覗けば見えてくる何かがある、そして、その土地の空気感を一枚の写真で伝えられる事は何事にも代えがたいものがあります。また、撮り溜めた作品を色々な方々と共有し、共感出来れば幸いです。

昨今、メディアの普及に伴い、その一端であるカメラもほとんどがデジタルへ移行し、誰にでも馴染み易くなりました。しかし一方で根強く銀塩フィルムに拘るユーザーも多い様です。それらの持ち味は様々ですが、まず1つのことを信じ、継続し、学ぶ精神があれば、その先には、喜びや感動が待っていることと思います。今後は趣味を活かしながら、生涯一歯科医師としてあり続けて行きたいと思っています。



タイトル「一日の終わり」

私の生きる道



私は、昨年、3月9日に福岡市中央区のヤフードームの近くで開業しました。

大学を卒業して、2年間保存科で学ばせて頂き、その後、何軒かの福岡の歯科医院でお世話になりました。開業するまでの1年間は、実家のある県外で勤務していましたが、高校卒業後、何年も実家に戻っていませんでした。私は全く地元での生活に慣れず、休日の前の日になると新幹線に飛び乗って、福岡に戻り、出勤日の朝に又、新幹線に乗って出勤するという、逆単身赴任生活を送っていました。そういう生活を続けているうちに、やはり福岡で開業するしかないという気持ちになり、現在に至ったわけです。

もう少し若い頃は、自分で開業するとは、夢にも思わず、テーブル&ティーコーディネート、仏料理、ワイン教室、チーズ教室、英会話etcと様々な習い事をしていました。その頃の事を考えると、歯科の仕事は好きではあったのですが、いろいろ迷いがあり、ずっと自分探しをしていたような気がします。でも、やっと今、歯科医として生きるのが、自分の道であると、確信できるようになりました。

現在は、歯科の講習会にもいろいろ行かせて頂いています。行き始めの頃は、魔法使いのお話を聞いているようでしたが、最近は少しずつ呪文がわかるようになってきましたので、私も魔法使いの先生に近づけるように、日々、努力し、患者さんに、咬めたり、美しくなる喜びのお手伝いをしたいと思います。

最後に、歯科大に行かせてくれた父母、いつも励ましてくれる友人、元気をくれるソフトバンクホークス、癒しを与えてくれる、うちの猫に感謝します。

大谷美保歯科医院(福岡市中央区) 大谷 美保(12期)=文

写真上=大谷美保歯科医院外観
写真下=スタッフと一緒に(右端が私)



”思い”を診られる医師に



私の故郷は、阿波踊りで有名な徳島県です。徳島と言っても高知県との県境にあるため市内からは汽車(電車ではなく)で一時間半。海と山に囲まれた自然豊かで魚が大変美味しい町で育ちました。そんな徳島で生まれ育った私が福岡にできたのは大学生の時です。福岡歯科大学に入学し、卒業後、歯科麻酔科に在籍、認定医の資格を取得し、その後、高齢・障害者歯科にて全身疾患のある患者さんの歯科診療の経験と学識を学ぶことができました。勤務医時代では、様々な医院にて一般診療のノウハウを学び、多くの先生方の診療スタイルや考え方、患者さんたちに対する接し方、思いなどを教えて頂いたことが、自分の中での大きな財産となりました。

昨年の秋、ようやく福岡市内で開院することとなり、現在は試行錯誤しながら患者さんにより良い治療とは何かを探求している日々を過ごしております。

徳島出身の私がつ、ここ福岡の印象は、田舎と都会が混在する町だということです。開院してからも最新の治療を求める人がいるかと思えば、治療のお礼に家で採れた野菜を持ってきて下さる方がいたりとさまざまです。ですから診療スタイルも患者さんに合わせた言葉になったり、歯に対する考え方もその人によって違うため、時にはあえて歯の治療をせず、義歯を入れ、まずは患者さんに噛めることの満足感を感じて頂いてから1本1本の歯の治療を行うこともあります。

これからも地域のたくさんの人たちのお口の中と一緒にその方の”思い”も診れる医師であり、かつ最新最適の治療が提供できる様、日々努力していきたいと思っております。

平岡歯科クリニック (福岡市南区) 平岡 貴紀 (18期)=文

写真上=クリニック外観
写真下=いつも心の支えになっている子供たちと



第29回歯学部卒業式・第19回大学院修了式

福岡歯科大学の第29回卒業式並びに第19回大学院修了式が、3月17日午前10時から本館講堂で執り行われ、本田武司学長より歯学部卒業生110人に卒業証書・学位記が手渡され、大学院修了生8人には歯学博士の学位記が授与されました。



謝恩会



◀大学院修了生

学業成績最優秀者

前野麻理子【理事長賞】
大城希美子【学長賞】
河村 隼【学長賞】

学友会功労者

安田 雅美【総務委員長】
馬場 聡【体育部会長】
中島 寛明【学術文化部会長】
田上隆一郎【学園祭実行委員長】
馬場 貴【体育祭実行委員長】



第9回福岡医療短期大学卒業式・第8回歯科衛生学科専攻科修了式

福岡医療短期大学の第9回卒業式および歯科衛生学科専攻科の第8回修了式が3月9日午前10時から福岡歯科大学本館講堂で執り行われ、歯科衛生学科106人、保健福祉学科39人の卒業生に対し栢豪洋学長より卒業証書・学位記が授与されました。また、歯科衛生学科専攻科の修了生7人に対して修了証書が授与されました。

学業成績優秀による表彰者は次のとおりです。

歯科衛生学科

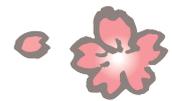
西原 理恵【理事長賞】
中村 彩美【短大学長賞】
竹内真理子【短大学長賞】

保健福祉学科

井手口恵子【理事長賞】
福永 健治【短大学長賞】
菅野 恵美【短大学長賞】



謝恩会



【学位論文紹介】

【学位授与日:平成19年 3月17日】

- ◇何 陽介(甲第193号) エナメル質初期齲蝕の再石灰化と酸性フッ素リン酸溶液のpHとの関係について
- ◇岡松 加恵(甲第194号) Ultrastructure of the interface between titanium and surrounding tissue in rat tibiae -a comparison study on titanium-coated and -uncoated plastic implants (インプラント・骨界面の形態組織学的解析 - チタンコーティングインプラントと非コーティングプラスチックインプラントの比較研究 -)
- ◇片瀨三千綱(甲第195号) Biochemical characterization of collagen in alveolar mucosa and attached gingiva of pig (ブタの歯槽粘膜と付着歯肉におけるコラーゲンの生化学的性質)
- ◇津江 文武(甲第196号) Reinforcing effect of glass fiber-reinforced composite on flexural strength at the proportional limit of denture base resin (床用レジン)の比例限における曲げ強さおよびFiber reinforced compositesの補強効果)
- ◇成富 雅則(甲第197号) Cyclic mechanical strain induces interleukin-6 expression via prostaglandin E2 production by cyclooxygenase-2 in MC3T3-E1 osteoblast-like cells (周期的細胞伸縮刺激は骨芽細胞様細胞MC3T3-E1においてシクロオキシゲナーゼ-2によるプロスタグランジンE2産生を介してインターロイキン6の発現を誘導する)
- ◇野口 晴加(甲第198号) 遊離歯肉移植術における上皮の角化状態の免疫組織学的観察
- ◇秦 雄一郎(甲第199号) Effects of basic fibroblast growth factor administration on vascular changes in wound healing of rat palates (bFGF投与が創傷治癒過程におけるラット口蓋骨面の血管網にあたえる効果)
- ◇笹本 実(甲第200号) Individual architecture of subgingival microflora in chronic periodontitis (慢性歯周炎における歯肉縁下プラーク細菌叢の個体における構成)

【学位授与日:平成19年3月30日】

- ◇松尾 忠行(乙第81号) 歯肉溝滲出液中の炎症性物質と口腔および全身に関わる生活習慣、自覚症状との関連についての横断研究

福岡歯科大学新入生

研修会

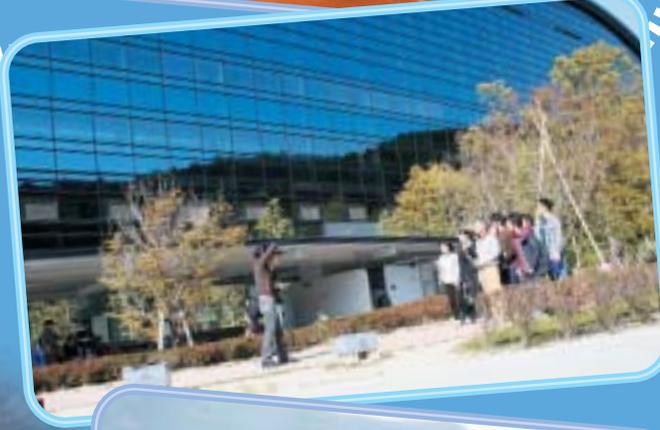
4月6日、7日の2日間、平成19年度新入生研修会が国立阿蘇青少年交流の家で実施され、『現代文明論』講義、理事長・常務理事・学長講話、阿蘇登山や九州国立博物館見学と盛りだくさんの研修会となりました。



親睦を深める
レクリエーション



九州国立博物館にて



大迫力の
阿蘇の火山



福岡医療短期大学新入生

研修会

4月13日、14日の2日間、平成19年度新入生研修会が国立阿蘇青少年交流の家で実施され、
歯科衛生学科と保健福祉学科それぞれに、レクリエーションや大観峰見学を行いました。

歯科衛生学科



歯科衛生学科専攻科



新鮮な空気を
いっぱい吸い込んで!



牛?と一緒に!

保健福祉学科



大自然の中で
フリスビー



開設 耳鼻咽喉科、口腔顔面美容医療センター

福岡歯科大学では、口腔疾患を全身と関連づけて診ることができる歯科医師を養成するため「口腔医学の確立」を目指した特色ある教育、診療を行っています。この方針に基づき、歯科だけでなく内科や外科を始めとする隣接医学の充実にも重点的に取り組んできました。本年4月から「耳鼻咽喉科」と「口腔顔面美容医療センター」が新たに開設されました。

平成17年開設の「心療内科」に続き、「耳鼻咽喉科」、「口腔顔面美容医療センター」が歯科系大学の診療科として設置された例は少なく、先進的な事例として全国の注目を集めています。

新設した「口腔顔面美容医療センター」では、審美歯科治療にとどまらず、形成外科を加えて機能性をプラスし、歯や口腔・顔面全体の治療を行います。

オープンキャンパス

開催校	実施日
福岡歯科大学	7月28日(土)・8月25日(土)
福岡医療短期大学 (歯科衛生学科) (保健福祉学科)	第1回 5月19日(土)
	第2回 6月16日(土)
	第3回 7月27日(金)
	第4回 8月10日(金)
	第5回 9月15日(土)

入学希望者をはじめ、ご家族や高校・予備校の先生方を対象に福岡歯科大学、福岡医療短期大学において「オープンキャンパス」が左記の日程で行われます。お誘い合わせの上、お気軽にご参加下さい。(問い合わせは各入試係まで)



福岡歯科大学 情報処理実習室で説明を受ける参加者



福岡医療短期大学 車椅子を体験する参加者(保健福祉学科)

平成20年度入学試験日程

区分	福岡歯科大学				福岡歯科大学大学院 歯学研究所	
	推薦入試	一般入試A日程	センター試験利用入試	一般入試B日程	一次募集	二次募集
募集人員	約15名	約46名	約10名	約10名	18名	
出願受付期間	H19.11.1(木)-11.8(木)	H20.1.4(金)-1.29(火)	H20.1.21(月)-2.13(水)	H20.2.12(火)-3.6(木)	H19.7.30(月)-8.17(金)	H20.1.28(月)-2.15(金)
試験日	11月10日(土)	2月1日(金)	2月16日(土)	3月10日(月)	8月23日(木)	2月21日(木)
合格発表日	11月15日(木)	2月6日(水)	2月20日(水)	3月12日(水)	9月 6日(木)	3月 6日(木)
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/col ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/colhp E-mail:gakumu@college.fdcnet.ac.jp					

【福岡歯科大学Admissions Office(AO)入学試験】

本学のAO入学試験制度は、歯科医学を学び、歯科医師を目指す意志が明確で、次世代の歯科医学をリードできる、若く、有能な人材を広く全国から募集する制度です。また、AO入学試験合格者のうち、入学試験成績上位3名の者に対して、入学初年度から卒業までの6年間学術奨励金を支給します。(但し、2年次以降は継続条件有り)

募集人員	出願受付期間	試験日	合格発表日
約15名	H19年8月13日(月) H19年9月 5日(水)	一次: 9月15日(土) 二次: 10月20日(土)	一次: 10月 5日(金) 二次: 10月25日(木)

※詳細は福岡歯科大学学務課入試係(TEL.092-801-1885)までお問合せください。

福岡医療短期大学・歯科衛生学科

区分	推薦入試(指定校)	推薦入試(公募)	一般入試A日程	一般入試B日程	一般入試C日程	AO入試
募集人員	約10名	約10名	約15名	約5名	若干名	約40名
出願受付期間	H19.11.1(木)-11.8(木)	H19.11.1(木)-11.8(木)	H20.1.4(金)-1.29(火)	H20.2.4(月)-2.21(木)	H20.3.3(月)-3.10(月)	詳細は入試係までお問い合わせください。
試験日	11月10日(土)	11月10日(土)	2月1日(金)	2月23日(土)	3月12日(水)	
合格発表日	11月16日(金)	11月16日(金)	2月6日(水)	2月29日(金)	3月14日(金)	
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡医療短期大学学務課入試係 TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/hyg ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp E-mail:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp					

福岡医療短期大学・保健福祉学科

区分	推薦入試(指定校)	推薦入試(I)(公募・社会人)	推薦入試(II)(公募・社会人)	一般入試A日程	一般入試B日程	一般入試C日程	一般入試D日程	AO入試
募集人員	約15名	約10名	約5名	約10名	若干名	若干名	若干名	約20名
出願受付期間	H19.11.1(木)-11.8(木)	H19.11.1(木)-11.8(木)	H19.12.3(月)-12.13(木)	H20.1.4(金)-1.29(火)	H20.2.4(月)-2.21(木)	H20.3.3(月)-3.10(月)	H20.3.14(金)-3.24(月)	詳細は入試係までお問い合わせください。
試験日	11月10日(土)	11月10日(土)	12月15日(土)	2月1日(金)	2月23日(土)	3月12日(水)	3月26日(水)	
合格発表日	11月16日(金)	11月16日(金)	12月20日(木)	2月6日(水)	2月29日(金)	3月14日(金)	3月27日(木)	
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡医療短期大学学務課入試係 TEL.092-801-0923(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/wel ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp E-mail:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp							